



冤罪・布川国賠ニュース

第11号 2014.9.11

冤罪・布川国賠

冤罪・布川事件の国家賠償請求訴訟を支援する会 発行

検察警察は自らの違法行為の証拠を隠すな！

10/1(水) 布川国賠第7回口頭弁論期日行動

石栗正子裁判長に証拠開示を促すため、裁判所要請にもぜひご参加ください！

- 11:00~11:30 裁判所要請 (10:50 地裁前集合)
- 12:00~13:00 地裁前宣伝
- 14:00~ 第7回口頭弁論
- 14:30~ 記者会見兼報告集会
(日比谷図書文化館4階 小ホール)



9/18(木) 法制審特別部会の新たな刑事司法制度原案への反対行動

同日開かれる法制審議会で、新たな刑事司法制度の構築についての特別部会の調査審議の結果＝「答申原案」が法務大臣に対する「法制審の答申案」として採択される運びとなります。

冤罪防止を目的とした筈の特別部会答申案が、取調可視化や証拠の全面開示を骨抜きにし、捜査権力の火事場泥棒的な権限拡大（盗聴法の拡大と司法取引などの導入）するものとなったことは、言語道断です。

冤罪被害者、市民評議会らはこの日、午前11時から法務省を訪れ、同審議会に対し、特別部会の答申案を採択せず、法務大臣への答申を行わないよう要請を行います。

また、桜井さんがインターネットの署名サイト change.org を通じて集めてきた取調全面可視化と全証拠開示を求める署名の提出も同時に行います。

【行動予定】

- 11:00 法制審への要請と署名提出 (法務省)
- 12:00~12:20 宣伝 (東京地裁前)
- 13:00~14:00 記者会見 司法記者クラブ (東京地裁・高裁内)

国賠裁判報告

6/11(水)第6回口頭弁論

証拠開示の攻防続く

捜査、起訴、公判での違法を主張する弁護団の主張に対し、検察警察は違法がないとの主張を行い、その攻防が続いています。

6月11日の裁判に際しては、弁護団は、特に対象を絞って、証拠の目録等や、録音テープの記録し・現場指紋採取報告書などの重要な証拠に絞って改めて文書送付嘱託の申し立てをしました。

その後7月16日、9月4日に進行協議が重ねられ、証拠開示についての弁護団と警察・検察の意見の応酬がなお続いています。

弁護団は、違法を立証するには証拠の開示が不可欠としていますが、検察は必要性がない、プライバシーの問題などを主張して開示に反対の意見を出しています。警察は不見当としています。

裁判所がどういう判断を下すかが注目されます。

また、弁護団はアリバイや虚偽の自白形成過程の違法について詳細に論じた準備書面等を準備中で、近日中に提出される見通しです。

6.14 市民集会

6月14日(土)午後2時30分から、日比谷図書館地下大ホールで、“冤罪の原因究明と再発防止を!!6.14市民集会”が開かれました。布川国賠を支援する会とSNOWの共催で、自由法曹団や日本民主法律家協会などの後援を受けての開催。100名を超える参加者がありました。

第1部は、「新時代の刑事司法」の行方と題して、指宿信成城大学法学部教授と法制審特別部会の委員であった周防正行映画監督との対談。諸外国での法制例や冤罪被害をなくすための法案づくりの困難な実情が語られ、興味深いものでした。

第2部は、CD発売を記念した桜井昌司さんのミニコンサート。切々と想いを訴える歌声に、「涙した」という声もありました。

第3部は袴田事件勝利報告。長年袴田事件にかかわり、最近弁護士を卒業されたという田中薫弁護士の報告がありました。証拠のねつ造という衝撃的事実を正面から認定した地裁判決から出て間もない時期でもあり、長年の労苦が報われた喜びを共有しました。

「これからは面白くなりそう」

桜井昌司

民事裁判は、実に判りにくい。口頭弁論主義とか言っても、進行協議と言う密室で書面に付いて「ああでもないこうでもない」とやり取りして、肝心の法廷では、あっという間に終わることが多いです。しかも、訴えている本人は、なかなか発言の機会がない。いい加減な弁解や誤魔化しの書面を出す警察と検察に対して、直接に追及したい思いを抑えるのに必死なのが現状です。

先日の三者協議では、何と言っても検察・国の

いい加減さに腹が立ちました。

何度も触れていますが、法務省の役人(身分は検察官)が検察に責任のない根拠として語るところは、過去に有罪とした裁判所の判断なのです。再審開始決定があり、無罪判決で過去の有罪判断は否定されているだろうに、「有罪にした最高裁は、こう判断しているから、その自白は正しい」とか「この判決は、こう言っているから、この証人たちの証言は正しい」とか利用して、「従って、検察官の判断は誤りない」などと言うのです。

これだけでも「無罪判決や再審開始の最高裁判断は、それを否定してるだろ!」と怒りたいのに、肝心のことになると「釈明を保留する」とか言って答えないのだから、本当に腹が立つ。

それは、どの点かと言いますと、再審開始と無罪判決に導く証拠だった、長く隠されて来た「1本目の自白録音テープ」問題です。既に書いたと思いますが、この「1本目の自白テープ」が出て来たことで、「録音は1度だけ」と証言した刑事は偽証したことが明らかになりました。当然、「刑事の偽証を見逃したのは、検察官にも責任がある」と追及しますが、国・検察は「法廷で偽証する刑事なのだから、検察官が確認しても嘘を言うはず。だから、検察官には責任はない」と言う。それで「では、この1本目の録音テープが、警察から検察に渡された時期を示せ」と「釈明を求めた」らば、「個別の証拠の送達時期が、原告の主張との関係で意味を持つとは認められない」と答えるのだ。

何を言ってやがる！でしょ？

このいい加減さ、腐れ切った検察官たちならば仕方ないとは言え、本当に怒鳴りつけたくなります。

警察官の偽証を見逃した責任は、警察官が証言する前に検察官に「1本目の録音テープ」が渡っていれば、言い逃れ出来ないことになるので、誰が考えても「意味がある求釈明」に対して「意味がない」などと答えるのだろうと思います。

どこから考えてもいい加減な主張をして平然としていられるのは、一体なぜなのか。

多分、裁判所を舐めているのだろうと思います。出鱈目の言い訳を言っても、証拠を出さなければ検察官の責任を証明出来ないし、裁判官も「証拠提出命令などは出さない」と、舐めきっているとか思えません。

今度、国側代理人のトップに「上原綾子」と言う人物が配置になりました、この人物は、布川弁護団の福富美穂子弁護士と、同期・同クラスだったそうです。今まで志布志国賠裁判や氷見国賠裁判で見て来た国代理人は、ほとんど感情を表に現しませんが、この上原綾子は、意外と感情を態度に表します。先日の進行協議でも、弁護側

の1本目録音テープに付いての主張に対して、呆れたことに首を傾げたりしていました。「首を傾げたいのは俺の方だよ！」と言ってやりたかったですねえ。本当に判らないならば、単なるバカだし、判ってやっているならば、正義を求めて検察官になったのだらうに哀れな奴だということになりましょうか。福富先生と見較べるたびに、法曹家としての差は歴然だと思わずにいられません。

何度でも書きますが、「公訴事実と反する、信用性の高い証拠を持ちながら裁判に出さないで裁判所の誤った判断を導いたとすれば、それは公正で誠実な訴訟指揮とは言えないが、それと国賠上の責任は違う」などと放言する検察が許されてきたことが、日本の冤罪の原因だと思います。何としても、当たり前前に検察官に責任を取らせる司法にするために、徹底的に闘うしかありません。

次の期日には、この「録音テープ問題」で裁判所の判断が示されるようですが、腐れ検察を正す闘いは、これから面白くなりそうです。ぜひ、皆様のご支援をお願い致します。

★☆☆☆☆★

◆ショージが語る

～布川事件、えん罪、取調べの可視化～

日時：2014年10月12日(日)14:00～16:30

場所：あむねすみと2F ハングルアカデミー
(水戸駅南口徒歩5分)

主催：アムネスティ日本・水戸グループ

お問い合わせ 0299-48-2695 (徐信)

★☆☆☆☆★

◆獄中歌集「想いうた」発売中

1000円、送料100円

◆訃報

布川再審でお世話になった国際人権活動日本委員会の吉田好一さんが8月7日ジュネーブでお亡くなりになりました。7月15、16日国連の自由権規約委員会の日本政府報告審査がありましたが、そこでNGOとして活動するために出かけ、その地で病に倒れ、帰らぬ人となりました。75歳でした。

お別れ会が8月22日池袋で行われました。会場は、急逝を聞いて駆け付けた弔問者で溢れていました。心よりご冥福をお祈りいたします。

◆桜井さんが change.org 上で始めた「取調べの全過程可視化と全証拠開示で冤罪を無くそう！」のキャンペーン署名にご協力ください!!

9月18日法務大臣に提出予定ですが、宛先が衆参両議院法務委員会にもなっていますので今後も続けていきます。

アドレス：<http://www.change.org/stop-enzai>

署名数 ★19,986名(9月9日現在)

※画面上で、名前・アドレス記入の上、「賛同」をクリック!

◆冤罪をなくすため、検察警察の責任を問う布川国賠を支援する会に入会しませんか?

会員数 現在 388名

・年会費 1,000円(年度ごと)

・郵便振替

口座番号 00170-8-485425

口座名 布川国賠を支援する会

・三井住友銀行 高田馬場支店(普通預金)

口座番号 4711804

口座名 布川国賠を支援する会

(フカワコクバイオシエンズルカイ)

◆署名をありがとうございます

署名数 総計6,410筆!(9月4日現在)

救援会愛知県本部 178 救援会大阪府本部 60

救援会兵庫県本部 75 南紀代子 61 救援会

北九州総支部 5 福田磨理子 19 塩田哲子

25 救援会会津支部 11 栗城英雄 80 (敬称

略)

日程経過

5月31日(土) 桜井昌司 CD「想いうた」発売

6月11日(水) 布川国賠第6回口頭弁論

報告集会

6月14日(土) 全証拠開示・取調べの全面可視化を!

6.14 市民集会

7月15日(火) 大崎事件、再審開始を認めない決定

(福岡高裁宮崎支部)

7月22日(火) 大崎事件、最高裁に特別抗告

7月30日(水) 事務局会議

8月21日(木) SNOWセミナー

法制審「新時代の刑事司法制度特別部会」

は何を決めたか?(泉澤章弁護士)

8月22日(金) 吉田好一さん「お別れ会」

9月11日(木) 事務局会議・ニュース発信

盗聴法拡大に反対する市民集会

当面の行動予定

9月23日(火・祝)13:30~

「袴田事件は終わっていない!

9・23 再審無罪を勝ち取る全国集会」

文京区民センター3A

10月1日(水) 布川国賠第7回口頭弁論

10月12日(日)14:00~ショージが語る布川事件、

えん罪、取調べの可視化~水戸

12月17日(水)11:00~布川国賠第8回口頭弁論

※時間が変わります。

発行 冤罪・布川事件の国家賠償請求訴訟を支援する会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-26-12 高田馬場ビル505号室

Tel. 03-6278-9796 Fax. 03-6278-9798

E-mail: kwntpl53@ybb.ne.jp

発行責任者 中澤宏